主なプログラムの内容

8月20日(土) 1日目

1. オープニング［大人･子ども合同］…… 12：50～13：30
（現地実行委員長あいさつ・フリースクール紹介等）

2. 奥地圭子基調講演 ―不登校調査開始50年― **「僕は僕で良かったんだ」**…… 13：30～14：20

「学校へ行って当たり前」という社会の中で、学校へ行けない、行かない、行きたくない子どもは理解されず、受難の歴史が続きました。しかし、不登校を受けとめられ、その子にとって最も安心できる環境があり、この自分でいいと思える時、子どもの持っている成長力が発揮され、それぞれの自立に向けて歩んでいきます。そのために大事なこと、不登校が問うていることを国の調査開始50年の節目に振り返り、未来へ向けて語りたいと思います。

3. 子ども・若者シンポジウム「不登校した私の気持ち」…… 14：20～15：30

不登校をしている子どもたちは何を思い、何を感じているのでしょうか。夏の全国大会では当事者の声を聴くことを大事にし、そこからいろいろなことを学んできました。今年も学校に行かないで成長している子ども・若者たちの生の声を聴き、そこから不登校について考えあいましょう。

4. シンポジウム「震災と不登校」― 東日本大震災から5年、今を語る ―…… 15：50～17：20

◆シンポジスト紹介

■中村みちよさん
フリースペースつなぎ代表
震災をきっかけにフリースペースつなぎを設立
現在、親の会を開催

■門馬　優さん
NPO法人TEDIC
代表理事
震災をキッカケに、大学院在学中の2011年5月にTEDICを設立

■中山崇志さん
ＮＰＯ法人まきば
フリースクール理事
精神保健福祉士
復興支援チームリオグランデの一員

■富田　愛さん
東日本大震災後県外へ避難している親子の支援、避難先から戻ってきた母親向けの「ままカフェ」や父親向けの「ぱぱカフェ」等を開催。

2011年3月11日の東北大震災は大きな爪痕を残し、多くの人たちへ多大な影響を及ぼしました。震災後宮城県の不登校の児童・生徒数は全国で一番多くなりました。あの震災から今年で５年、今被災地の子どもたち、とりわけ不登校の子どもたちの様子はどのようになっているのでしょうか。

今回宮城県、福島県でフリースクールや親の会を行っている４人の方に登場していただき、被災地での子どもをめぐる今の状況を語っていただき、震災から5年目の今、どのようなことを考えていったらいいのか皆さんで考えあう時間にしたいと思います。

司会：江川和弥（フリースクール全国ネット代表理事）

➡➡➡➡➡➡➡➡➡➡ 宿泊先の「ホテルキャッスルプラザ多賀城」へ移動 ※移動時間30分（送迎バスにて移動）

チェックイン・夕食 ➡➡➡➡➡➡➡➡➡➡ 18：00 ～

5. 参加者交流会【オプション】…… 19：30～21：30

今回は夕食後、ゆっくりといろいろと話す時間を取りました。日頃抱えている悩みや不安をだれかと話すもよし、久しぶりに会う方とゆっくりお話しするもよし。全国からこられている方々との素敵な時間にしてみてください。
（今回この企画はオプション参加となっています。参加ご希望の方は通常の参加費とは別に参加費がかかります。）

8月21日(日) 2日目

➡➡➡➡➡➡➡➡➡➡ 朝食後「東北学院大学　土樋キャンパス」へ移動

6. テーマ別分科会…… 9：15～12：00

関心のあるテーマを１つ選んでご参加ください。そして、たっぷり深め合いましょう。
（事前の会場準備等のため、希望の分科会をあらかじめお知らせください。当日変更もＯＫです）

	分　科　会	内　容
1	子どもが不登校になったら	不登校という言葉を聞いていても、我が子が不登校になって初めて不登校と向き合うことになった方が少なくないと思います。親としては勉強のこと、将来のこと、社会性など不安になったり、戸惑ったりしてしまうこともあるでしょう。しかし、子ども自身が一番不安を抱えていたり、自分を責めたりしているのではないでしょうか。今、気になっていることを出し合いながら、じっくりと考えあう時間を持ちたいと思います。
2	不登校と自己肯定感	日本の子どもたちはただでさえ、自己肯定感が低いということを言われます。多くの子どもたちが学校に行っている社会の中で、学校に行っていない子どもたちは、なおさら、自己を肯定していくことは簡単なことではありません。不登校を経験している子どもが自分のありようを認め、いわゆる自己肯定感をはぐくむようにしていくには、大人たちとはどのように向き合っていけばいいのでしょうか。弁護士の**多田元さん**と一緒に考えていきましょう。
3	不登校支援のあり方	教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、フリースクールスタッフ、学校医、適応指導教室の関係者、など支援者の立場からの関わりは多様にあります。それぞれの立場はありますが、子どもにとって最善の利益につながる支援は共通していると思います。ぜひいろいろなお立場の方にご参加いただき、一緒に考える時間にしていきましょう。精神保健福祉士・社会福祉士の**野村俊幸さん**にアドバイザーとして参加していただきます。
4	ひきこもり、医療･相談機関との関わり	学校や社会、人間関係で非常に傷ついた子ども・若者の中には家から出ない、部屋から出ないといった、いわゆる「ひきこもり」の状態になっている人もいます。自分は先に逝くと思うととても不安になっておられる親の方もいらっしゃるかもしれません。引きこもりに詳しい宇部フロンティア大学教授で心理カウンセラーの**西村秀明さん**と共に考えます。ひきこもりに限らず、医療・相談機関のことで話をしたい、聞きたい方どうぞご参加ください。
5	きつい状態の子どもとの関わり	家庭内暴力、強迫神経症、過食・拒食、リストカットなど子どもが苦しいときには、そういった状態になることもあります。そのような状態は安心できる相手に対して向かうことが多く、多くの場合ご家族がその対象になります。子ども本人の苦しさ、それを支える家族の苦しさ等について語り合い、どのように子どもの苦しさを理解し、支えていけばいいのかということを一緒に考える時間にしたいと思っています。**奥地圭子さん**がアドバイザーとして参加します。
6	発達障がいと不登校	なかなか周囲に理解されない個性や特性を持った子どもたちが不登校になることがあります。家庭の中で、学校の中で、社会の中で本人はやりにくさを抱え、周囲は戸惑いを感じるなど合わない対応に本人・家族が追い詰められてしまうといった場合もあるのではないでしょうか。また、診断を受け診断名をもらったほうがいいのか、そうでないほうがいいのか迷ったりすることもあると思います。精神科医の**高岡 健さん**を迎え一緒に考え合いましょう。
7	不登校と経済問題	東北では震災以後フリースクールがいくつも立ち上がっています。その中には経済的に難しい状況にある子どもたちの学習支援からはじまり、そこで不登校の子どもたちと出会い、その子どもたちへの支援といった形でのフリースクールが立ち上がるところも少なくありません。不登校の子どもたちの中で経済的な悩みを抱えている親や家庭の支援をどのように考えていくのがいいのか、仙台市内で実際に現場をお持ちの**大橋雄介さん**をアドバイザーに迎え、一緒に考えていく時間にしたいと思います。
8	多様な学び ―フリースクール･居場所・ホームスクーリング―	震災の後生まれた居場所・フリースクールが子どもや親を支えています。全国的には30年前から存在し、今や全国400あるといわれる居場所・フリースクール。そこってどんなところ、子どもはどう１日を過ごし、どんな活動をしているの？学校との関係は？スタッフはどんな人たち？フリースクールをもっと知ってみたい人ぜひ参加してください。楽しい話が一杯聞けると思います。うちの子は家でやっていきたいという**ホームエデュケーション**のかたもどうぞ。
9	持続可能な居場所・フリースクールの運営	フリースクールはどうやって創るのだろう。創ってみたいがノウハウがわからない。創った後、どうやって持続していくのだろう。子どもとの関わり、親との関係、地域との関わり、行政とはどうやっていくの？など持続するために大事な事がたくさんあります。また、学校以外の学びの重要性が記された教育機会確保法や国の施策をどう考えたらいいの、という人もこの分科会で一緒に考えましょう。
10	若者と就労･地域での生き方について	学齢期を過ぎ、自立を考える年齢の若者たちの中には、人との関わりや社会との関わりをどのように持ったらいいのか不安な中で日々を過ごしている方もおられるのではないしょうか。そのように悩んでいる子どもに対し、働くことに限らず、どのように生き方を考えていけばいいのか、また、どのように支えていったらいいのか、東北学院大学で講師をしている**渡辺一馬**さんをアドバイザーに迎え、若者の就労を含む生き方について考えていく時間にしたいと思います。
11	当事者交流サロン	不登校や引きこもりの当事者ならではの経験や気持ち、悩み・苦しみ、そして楽しく過ごすコツなどを当事者どうしで語り合いましょう。ただ聞きに来るだけでもOK。20代、30代の青年どうしで心おきなく交流しましょう。**◎親・相談員など当事者以外の方はご遠慮ください。**

■ 分科会アドバイザー

・分科会-2 **多田　元**さん 弁護士

・分科会-3 **野村俊幸**さん 精神保健福祉士・社会福祉士

・分科会-4 **西村秀明**さん 宇部フロンティア大学教授

・分科会-5 **奥地圭子**さん 当ネットワーク代表理事

・分科会-6 **高岡　健**さん 精神科医

・分科会-7 **大橋雄介**さん NPO法人アスイク代表

・分科会-10 **渡辺一馬**さん 東北学院大学特任准教授

昼食タイム……
＊お弁当はオプションですが、なるべくお申し込みください。

7. 記念講演…… 13：00～14：10
教育評論家 尾木直樹さん（尾木ママ）「ありのままに今を輝く」

●プロフィール
1947年滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都公立中学校教師として、22年間子どもを主役としたユニークで創造的な教育実践を展開、その後大学教員に転身。それらの成果は今日まで200冊を超える著書(監修含む)、ビデオソフト、映画類にまとめられている。
2003年に法政大学キャリアデザイン学部教授に就任。2012年４月からは法政大学教職課程センター長・教授に就任。主宰する臨床教育研究所「虹」では、所長として子育てと教育、メディア問題等に関する現場に密着した調査・研究に精力的に取り組んでいる。
「尾木ママ」の愛称で、フジテレビ「ホンマでっか？TV」や Eテレ「ウワサの保護者会」等の多数のテレビ番組にも出演中。

8. 親シンポジウム「わが子の不登校から学んだこと」…… 14：30～16：00

子どもにとって一番自分をわかってほしい存在であるのが親です。不登校をしている子どもにとっては親の理解が何よりも自己肯定感につながっていきます。しかし、そうは思っていても、不登校をしているわが子をどう理解すればいいのか非常に悩んだり、このままでいいのか不安になったりします。様々な経験をしながら子どもとの関係を築いてきた親の皆さんに全国各地から登場していただき、わが子の不登校から学んだことをお話しいただきます。

10. エンディング［大人･子ども合同］（スライドショー･合宿の感想･次回開催地の発表）…… 16：00～16：30